

科目名	生体防御学演習 (Specialized Seminar of Host Defence)			科目コード	M313
選択区分	選択	履修時期	1 後	単位数 (時間)	2 単位 (60時間)
担当教員	山田 武司			関連DP	医②③
授業概要	免疫学に関する科学論文の検索などから、まだ解明されていない免疫学上の問題は何か、また免疫学上の自分の興味について深く掘り下げる。				
授業目標	生体防御学特論で学んだ内容をもとに、項目ごとに自分が興味を持った免疫学に関する論文について深く掘り下げる。論文上の結果を導き出した研究手法や結果の妥当性について討論しながら考察・理解を深めるとともに、各自の研究課題を遂行するための研究手法を考案し、実際に得られた結果について分かりやすく説明するプレゼンテーション能力を養う。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1・2	ガイダンス	研究課題の決め方や論文検索の方法について
3・4	感染症(細菌)	細菌感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読
5・6	感染症(ウイルス)	ウイルス感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読
7・8	感染症(寄生虫)	寄生虫感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読
9・10	免疫疾患 (アレルギー)	アレルギー疾患に関する論文の詳読
11・12	免疫疾患 (自己免疫)	自己免疫疾患に関する論文の詳読
13・14	免疫寛容	免疫寛容システムに関する論文の詳読
15・16	移植免疫	最新の移植免疫に関する論文の詳読
17・18	腫瘍免疫	最新の腫瘍免疫に関する論文の詳読
19・20	抗ウイルスワクチン	ウイルスに対するワクチン開発の進歩とその問題点について討論
21・22	抗腫瘍ワクチン	腫瘍に対するワクチン開発の進歩とその問題点について討論
23・24	免疫抑制剤	移植免疫で使用される免疫抑制剤の効果とその問題点について討論
25・26	細胞性免疫療法	細胞性免疫療法の効果とその問題点について討論
27・28	研究発表法 (論文)	論文作成のポイントについて
29・30	研究発表法 (スライド)	スライドを用いたプレゼンテーションのポイントについて
成績評価方法	課題レポートおよび発表内容・態度を併せて総合的に評価する。	
必携あるいは参考図書・文献	欧文雑誌からの論文資料を随時配付する。	
授業時間外の学習について	予習・復習が必要な場合は、進捗状況を顧みながら内容や範囲を随時指示する。	
関連科目	312 生体防御学特論 ⇒313 本科目 ⇒ 322 特別研究 (その他) 共通科目 109 英文献講読、108 疾病制御学特論 専門科目 314 感染制御学特論、315 感染制御学演習	
備 考	生体防御学特論の履修を前提とする。評価は特に理解度に比重を置く。	